

## 笛吹市教育委員会会議録

### 1 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

会 議 名：令和４年度４月定例会

開 催 日：令和４年４月７日

開会時間：午後２時００分

閉会時間：午後３時５０分

開催場所：笛吹市役所市民窓口館 302・303 会議室

### 2 出席及び欠席委員の氏名

|         |        |
|---------|--------|
| 出席者：教育長 | 望月 栄一  |
| 教育長職務代理 | 内田 淳   |
| 教育委員    | 久保田 一男 |
| 教育委員    | 飯田 多恵子 |
| 教育委員    | 高野 仁美  |
| 教育委員    | 中島 知晴  |

### 3 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

|            |       |
|------------|-------|
| 出席者：教育部長   | 赤尾 好彦 |
| 教育総務課長     | 太田 孝生 |
| 学校教育課指導主事  | 黒澤 宏至 |
| 学校教育課指導主事  | 日原 博人 |
| 生涯学習課長     | 手塚 克巳 |
| 文化財課長      | 望月 和幸 |
| 図書館長       | 吉岡 浩  |
| 教育総務課総務担当  | 田中 政人 |
| 〃          | 白鳥 直子 |
| 欠席者：学校教育課長 | 長野 篤雄 |

### 4 他部署より出席した長及びその事務局部の職員の職氏名

出席者：なし

### 5 教育長等の報告の要旨

教 育 長：３月９日から４月７日までの事業報告

教育総務課：３月８日から４月７日までの事業報告

学校教育課：令和４年度卒業生の進路状況について

令和３年度笛吹市内の不登校児童生徒数について  
笛吹市教育支援センター「ステラ」開所式について  
市内小中学校の修学旅行について  
学力、体力調査について  
市教育委員会学校訪問について  
保-幼・小連携の取組について

生涯学習課：３月９日から３月２４日までの事業報告

文化財課：３月１０日から３月２９日までの事業報告

青楓美術館春夏常設展について

文化スポーツ財団：３月２３日から４月７日までの事業報告

釈迦堂遺跡博物館：３月２８日から４月７日までの事業報告

## ６ 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

## ７ 議会に付した議案、議事の概要、議決事項

報告第１号：令和４年笛吹市議会第１回定例会の報告について

赤尾部長：資料に基づき説明

内田職務代理：２０２５年青楓美術館機能移転について。「今ある施設を地元住民が活用する意向がある場合は、建物の存続について一緒に考えていきたい」とあるがこの「地元住民」というのは、どこにどのように相談をしていくのか。

赤尾部長：こちらについては実際に地元の要望があったわけではないが、私どもの方で青楓美術館運営協議会を開催しており、今後どうしていくか時間をかけて協議している。メンバーは各地区の区長さんや文化協会のメンバーなど地元の方々、現在は笛吹市ではなく東京にいる地権者の方である小池さんなどで構成されている。そのメンバーからは自分たちで運営していきたいという特別な要望は今のところ出ていない。

飯田委員：その協議会のメンバーは青楓美術館に寄っている人が多いと感じている。その協議会の「残してほしい」という意見を全部「地元の意見」として取り扱ってよいものか。そこは慎重に検討していただきたい。ただ建物そのものは本当に地元の方々が必要で活用していけるのであれば、なによりと思っている。あと、２０２５年に春日居郷土

館へ移転するというのは決定しているのか。私は「決定していない」と聞いていたが。

赤尾部長：市のあらゆる施設について個別施設計画がある。その計画の中で 2025 年に機能移転する方針を示している。ただこれは内部の方針としての決定であって、今後地元の方々が使いたいということであれば無償で譲渡もできるが、ただ消防法等に問題があるために今後改修するとなると数千万規模の予算がかかるため、我々も慎重に考えている。また先程の「地権者」というのは津田青楓さんの親戚ではなくて、土地を持っている地権者の方の親戚が、東京にいるということであります。笛吹市と津田青楓さんは直接の関係がなく、津田青楓の作品が気に入って、山梨県内に美術館を作りたいという思いが強い方がおり、その当時は、別に一宮町に美術館をというのではなく、県内の県立美術館かどこかにということだったそうです。正直、道路のアクセスがよくなく、拡張するためにもかなりいろいろな手間がかかる。より多くの方に作品を見ていただくために、例えば小学校の授業等で有効活用するためにはバスで移動できるような広い施設に移し、他にも笛吹市にゆかりがある美術家は何名かいるので、ぜひそういった方々の作品と一緒に見てもらいたい。青楓を取り壊したいとかが主ではなく機能移転ということであります。

飯田委員：作品を郷土館の方へ持って行くと聞いている。郷土館の保管庫は結構満杯だと聞いたことがあるが違うのか。

望月課長：春日居郷土館の保管庫というのが、3 階建構造の収蔵庫がひとつ、もうひとつ 2 階建の金庫タイプの保管庫があり、広い 3 階建の方の 1 階と 2 階は確かにだいぶ詰まっているが、3 階はまだスペース的にもゆとりがあり、そちらを整理、レイアウト変更することも検討しており、十分収蔵可能と考えている。

望月教育長：いずれにしても、方針を理解いただけるように、4 月 22 日の青楓美術館運営協議会で丁寧に説明をして進めていきます。

久保田委員：今、青楓美術館がある場所は一宮北小の学区ということで、図画大会をやると、近いということで一宮北小の子がそこに行って見学したり絵を描いたりしているが、今度移ることによってバスで見に行ければ、より多くの子が見たり描いたりできるようになることと期待したい。

望月課長：確かに青楓美術館は一宮北小の子どもたちと非常に深い関係を持ちながら役立てていただいている。移転することでスクールバスでの移動が可能となり、この取り組みを市内全校に広げたいと。もちろん学校の協力や連携の中での話だが、可能なところはぜひ活用して

いただきたい。

報告第 1 号：全員了知

8 教育長が必要と認める事項（議事資料）

なし

議事録署名

笛吹市教育委員会 教 育 長 \_\_\_\_\_

教 育 委 員 \_\_\_\_\_

教 育 委 員 \_\_\_\_\_

作 成 職 員 \_\_\_\_\_